



開館13周年記念

皆様のご支援のもとに13年をむかえることができ有難うございます。
昨年は『特別講演』『歴史講座』はじめ各講座などに多数参加頂きました。
これからも皆様とともに、正確で客観的な歴史を学べる館にしたいと思って
おります。今後とも宜しくお願ひ致します。

早稲田大学文学学術院教授

李 咸市 氏をお招きしての13周年記念講演

韓国出土木簡と日本古代史 —新たな古代史の発見—



韓国の出土木簡は、いまだ出土点数は1000点に満たないものの、韓国木簡研究の進展に伴って古代における漢字文化の伝播と受容の過程が明らかになっている。近年では、朝鮮半島の漢字文化を媒介にして日本列島に受容された過程が6世紀以降の木簡や石碑によって具体的に裏付けられるようになっている。

また、日本列島出土の木簡に対応する多種多様な韓国木簡から、日本木簡の源流が韓国木簡にあることも指摘されている。さらには、これらの木簡研究を通して、大宝律令編纂以前の歴史については、中国よりは百濟や新羅が同時代に中国から受容した制度が参照されていたことが強調されている。なぜ日本木簡は韓国木簡よりも1世紀ほど遅れて日本列島に流通するのか、韓国木簡を通して、東アジア規模の新しい歴史研究の動向をお伝えしたい。

2019年6月15日(土) 14:00~16:00



イ ソンシ
李 咸市 氏



**申込先着60名
受付 13:30~**

■プロフィール■

1952年名古屋市生まれ。朝鮮史・東アジア史専攻。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。横浜国立大学教育学部助教授、早稲田大学文学部助教授を経て、現在、早稲田大学文学学術院教授。早稲田大学文学学術院長・文学部長、早稲田大学理事。現在、人間文化研究機構理事、在日韓人歴史資料館館長、韓国木簡学会会長。

◆主要著書◆

- 『創られた古代』(三仁出版、ソウル、2001年)
- 『闘争の場としての古代史—東アジア史のゆくえ』(岩波書店、2018年)
- 『東アジア世界の実践と理論—流動する古代』(Editus、ソウル、2019年)

◆共編著◆

- 『岩波講座 日本歴史』(全22巻、岩波書店、2013年~2016年)
- 『世界史体系朝鮮史』(1, 2 山川出版社、2017年)
- 『日本古代交流史入門』(勉誠出版、2017年)



*裏面のFAX用紙又は電話・メールでお申し込み下さい。

渡来人歴史館13周年記念講演

韓国出土木簡と日本古代史

ー新たな古代史の発見ー



2019年6月15日(土)

FAX : 077-525-3450

お名前

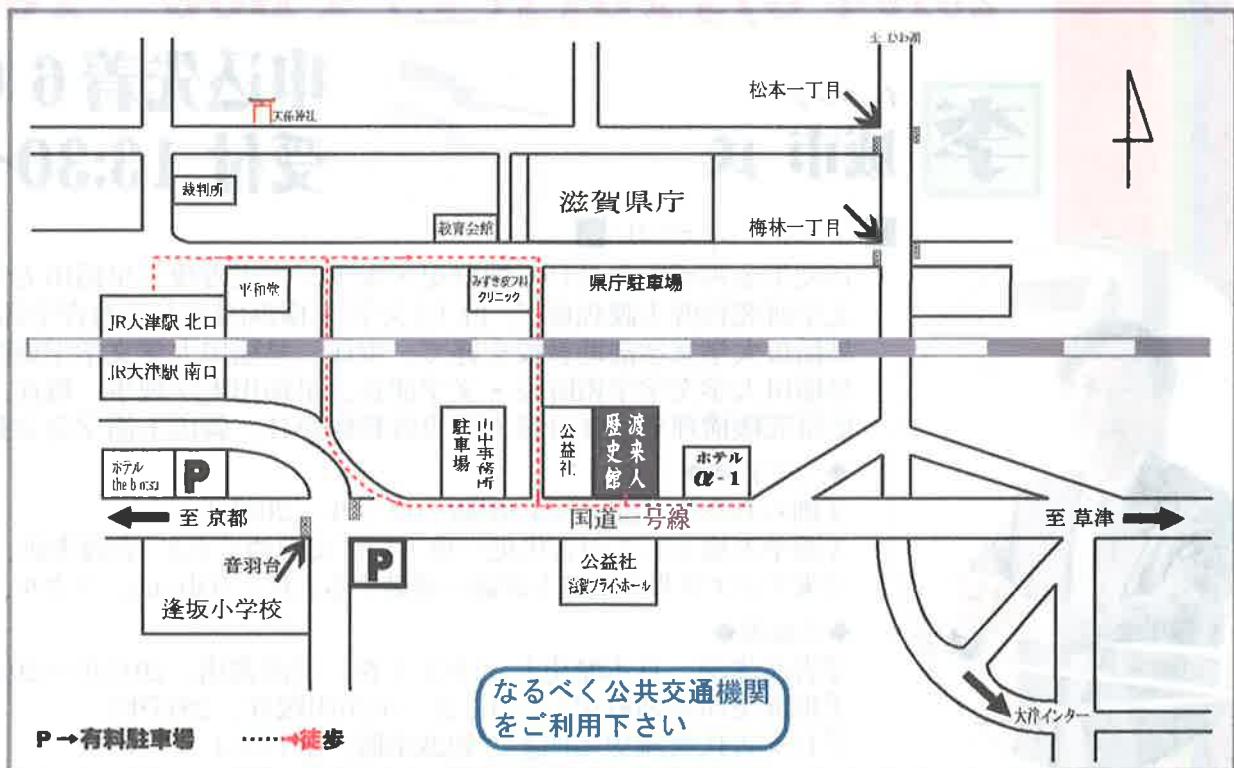
〒

ご住所

TEL

FAX

*定員になり次第締め切ります。お断りの方のみご連絡させて頂きます。



主催: 渡来人歴史館

TEL: 077-525-3030

事務局: 住所: 大津市梅林二丁目4番6号

FAX: 077-525-3450 E-mail: info@t-rekisikan.com